

東海村名誉村民



故 川崎 義彦（かわさき よしひこ）
平成9年4月1日 授与

村松村と石神村の合併による東海村の誕生に大きく貢献。その後、昭和30年4月東海村の初代村長に就任。昭和36年9月に再度就任、昭和44年からは3期連続で村長を務めました。

特に日本原子力研究所の誘致、周辺整備に尽力。通算18年にわたり、東海村長として村の発展に大きく貢献し、名誉村民の称号を授与されました。



故 根本 時之介（ねもと ときのすけ）
平成9年4月1日 授与

昭和32年9月に東海村第2代村長として就任。昭和40年9月には再び村長に就任し、通算8年にわたり村づくりに携わりました。村道等の基盤整備や、小中学校などの教育環境の充実に尽力しました。

村発展の土台を築いた人物として名誉村民の称号を授与されました。



須藤 富雄（すとう とみお）
平成27年7月27日 授与

昭和56年9月に東海村第3代村長として就任して以来、4期連続で村長を務め、村政の発展に貢献しました。

特に、原子力の平和利用、文化・スポーツ施設の整備、東海駅の橋上化などに尽力。16年にわたり、東海村長として後世に残る多くの施策を展開し、名誉村民の称号を授与されました。

※故人を表す「故」の表示については、授与の時点とする。



照沼 信邦（てるぬま のぶくに）
平成27年7月27日 授与

昭和38年11月に東海村教育委員会委員長に就任。29年にわたり、教育行政を先導し、学区の再編成と新設校の建設に尽力。「青少年育成東海村民会議」の結成に尽力し、青少年の健全育成に大きく貢献しました。

東海村の学校教育、生涯学習の礎を築いた人物として名誉村民の称号を授与されました。



故 清野 欣一（きよの きんいち）
平成27年7月27日 授与

村立東海病院の前身である東海村国民健康保険診療所の開所から22年にわたり所長として医療体制の整備に尽力。その後、本村で清野医院を開院し、診療の傍ら村立幼稚園、村立小中学校の学校医を歴任。

医師として地域医療の推進に大きく貢献し、名誉村民の称号を授与されました。



故 黒羽根 弘一（くろばね ひろいち）
令和7年7月6日 授与

区長制度の時代から地域の代表として活躍し、地区自治会の設立、自治会連合会の法人化等に尽力し、村の地方自治の推進に貢献。平成18年4月に東海村社会福祉協議会会長に就任し、15年にわたり、地域の福祉コミュニティの育成にも大きく貢献しました。

村の地方自治、地域福祉に貢献した人物として名誉村民の称号を授与されました。